

北見武道通信

令和7年7月3日 00750号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

ニュース レター

【事務局
情報】
北見市
武道館
「特別柔
道教室」
開催！



6月28日(日)全日本柔道連盟専属コーチ村山洸介講師六段とパリオリンピック金メダリストの出口クリスタ講師五段がオホーツク管内の柔道少年団や柔道指導者に「特別柔道教室」を開催しました。NPO 法人北見市武道振興協会が北見市教育委員会より事業委託を受け北見市柔道協会や公益財団法人北見市スポーツ協会とも連携して実現しました。柔道教室では、スポーツとしての楽しさに加え、勝ち負けだけではない相手を尊重する礼の心を解説すると共に姿勢の大切さや怪我をしないための転び方など熱心な指導が行われました。午後には村山洸介講師による指導者向けの「柔道のはなし_競技の在り方と文化的価値実現」と題した基調講演が行われ「市民の心身の健全なる発達及び体育の普及振興を図る事業」に沿った有益な教室となりました。〈佐藤〉



武道館スタッフ愛子の作品展シリーズ

テーマ「パフェフェア」 武道館スタッフ織田愛子 ※北見市武道館に展示

連載「武道宝鑑」第2弾 磯貝 一 <柔道指導の心得>(序文)2

ここに一言にして、指導上の所信を述べると、指導者は、ただ己の全部を以て後進者の向上の礎となれ、ということである。これが私の指導者としての信念である。

自ら反省し自ら修養に勉めて、己の全体をそのまま後進者の修養に提供する—この

外に何も無いのである。従って、後進者が、じぶんの提供した全部を素直に受入れてくれ、それによって熱心に修行してくれれば、指導者としてこの上の楽しみはない。それさえあれば、自分の疲労も苦心もすべて忘れられる。更にまた、後進者が、自分の指導その効を奏して、技術に精神に寝々乎として進歩するのを見る時は、実に無限の喜びである。かかる時、我等は指導者となった事を感謝せずにはいられない。修行者の中から優秀な人が澤山出る。而も自分よりずっと優れている。これがまた無上の楽しみである。私は時々考えることがある。若しも自分が指導した人達が、皆自分より劣った人達ばかりであったらどうであろうと、それは、実に淋しいものであろう。幸いにも自分は、まだ、そういう淋しさを知らずにいる。この点、われながらひそかに心強さを感じている次第である。つづく

